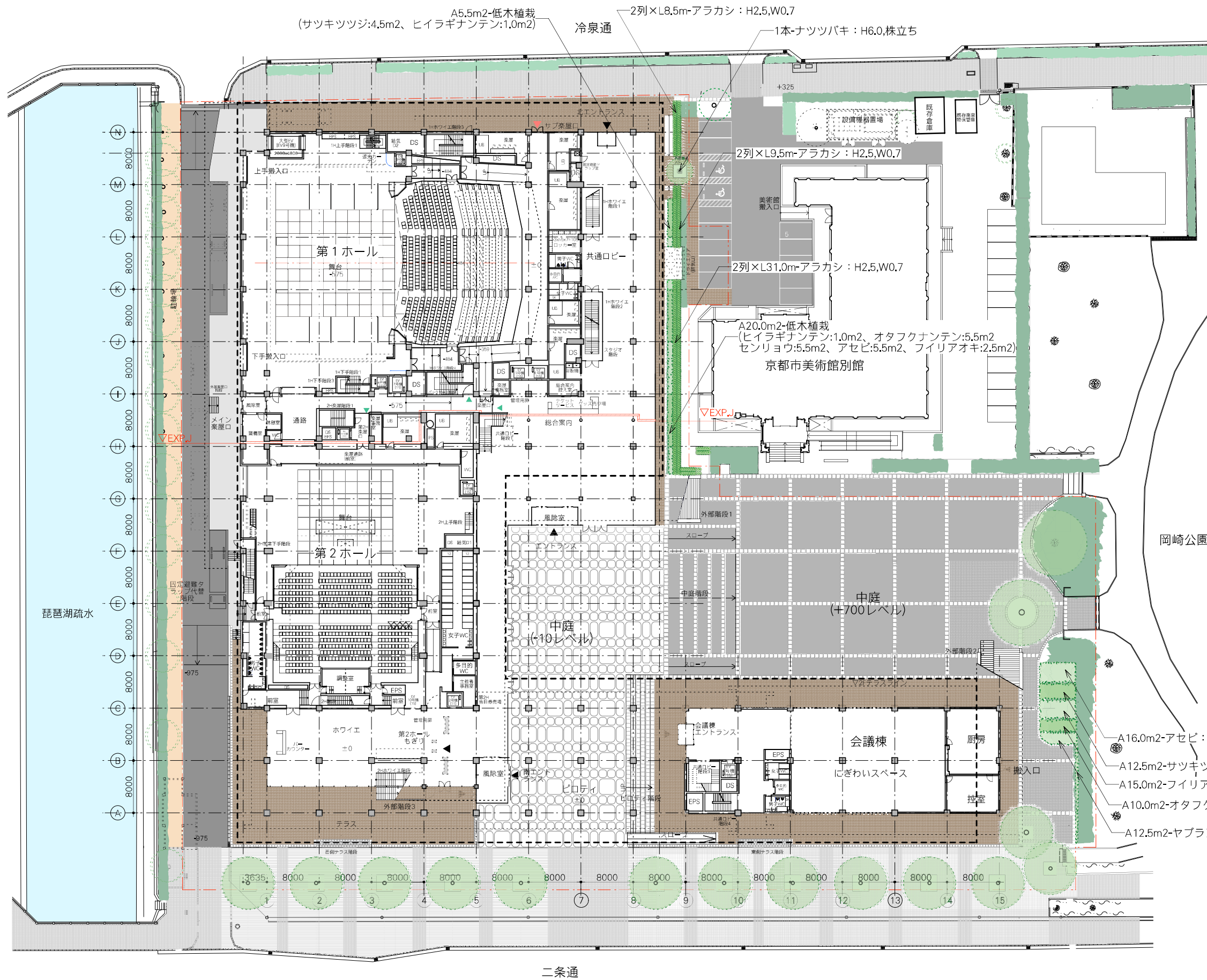
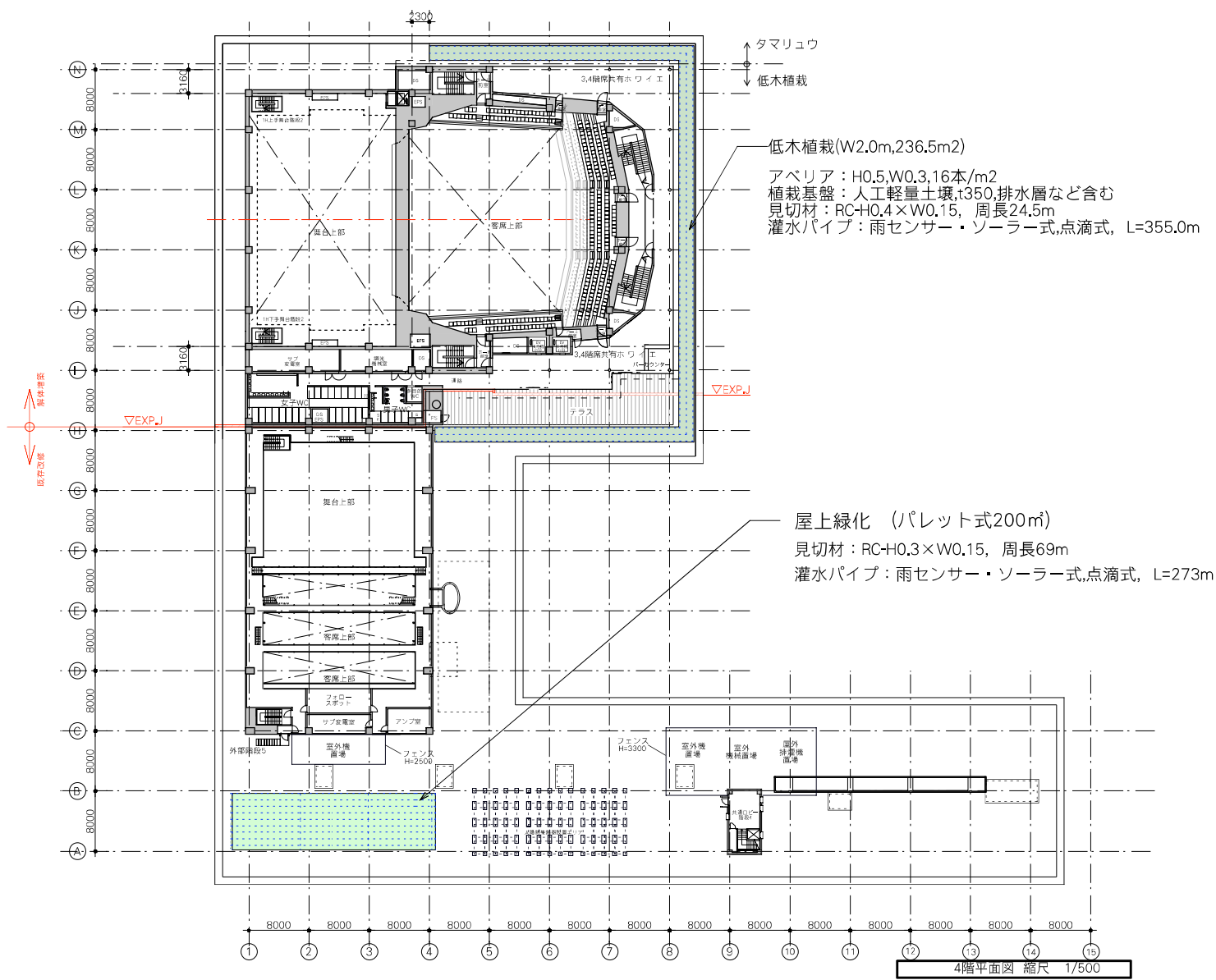




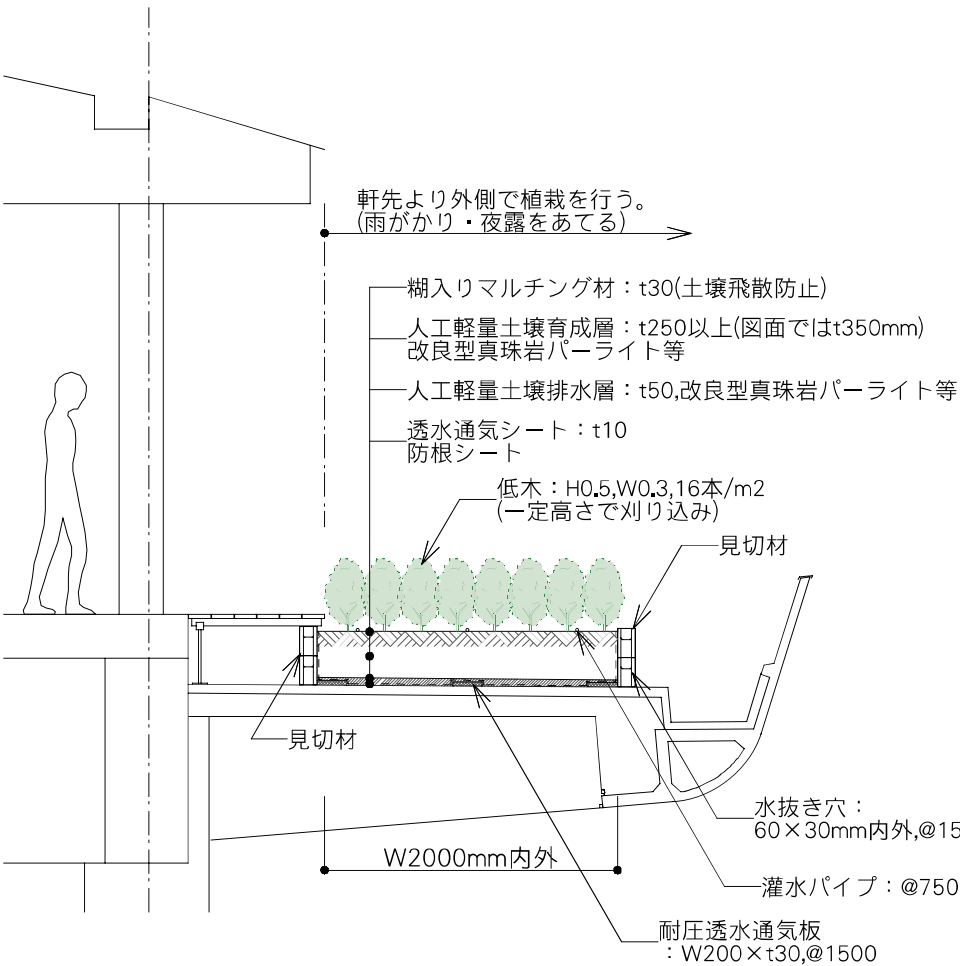
地上部緑化計画数量表		
名称	寸法規格・仕様	数量
ナツツバキ	H6.0,株立ち,地下支持支柱 客土,排水層,酸素管	1.0(本)
アラカシ	H2.5,W0.7,3本/m 生垣支柱,客土 {2列×(8.5+9.5+31.0)}	98.0(m)
アセビ	H0.5,W0.3,9本/m2 客土 (5.5+16.0)	21.5(m2)
オタフクナンテン	H0.3,16本/m2 客土 (5.5+10.0)	15.5(m2)
サツキツツジ	H0.3,W0.4,9本/m2 客土 (4.5+12.5)	17.0(m2)
センリョウ	H0.5,9本/m2 客土	5.5(m2)
ヒイラギナンテン	H0.5,16本/m2 客土 (1.0+1.0)	2.0(m2)
フィリアオキ	H0.5,W0.3,9本/m2 客土 (2.5+15.0)	17.5(m2)
ヤブラン	3芽立,10.5cm径pot,36pot/m2 客土	12.5(m2)

屋上(4階)の緑化計画

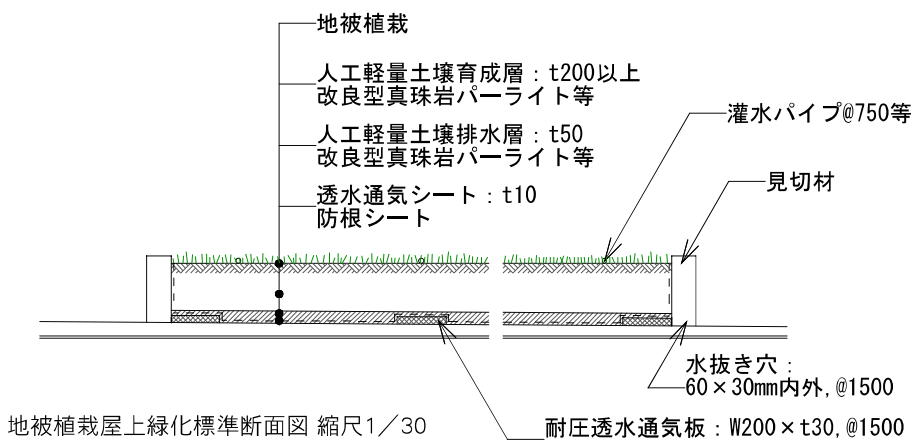
- ・大庇の4階屋根のなかで第1ホールホワイエ周りは、大庇内側の見えがかりに配慮して緑化する。また、会議棟側についてもヒートアイランド現象など昨今の都市環境への負荷軽減を目的として地被植栽による緑化とする。
- ・植栽基盤については、建築本体への荷重負荷軽減を考慮して人工軽量土壌の使用を基本とし、過去の実績もふまえた信頼性を有する工法を採用する。あわせて乾燥防止のために灌水パイプの設置をする。
- ・樹種選定にあたっては、耐暑性、耐風性に配慮するとともに、維持管理性の観点から常緑低木又は地被とする。
- ・第1ホール北側は、消防用進入口と避難器具を有する為、低木ではなくタマリユウとする。



4階平面図 縮尺1/800



第1ホールホワイエ周り屋上緑化標準断面図 縮尺1/50



地被植栽屋上緑化標準断面図 縮尺1/30
(某メーカー製品人工軽量土壌A工法の場合：
灌水パイプは通常必要ないが、夏場の異常気象時などへの対応として補助的に敷設)

低木樹種候補



アベリア



サツキツツジ



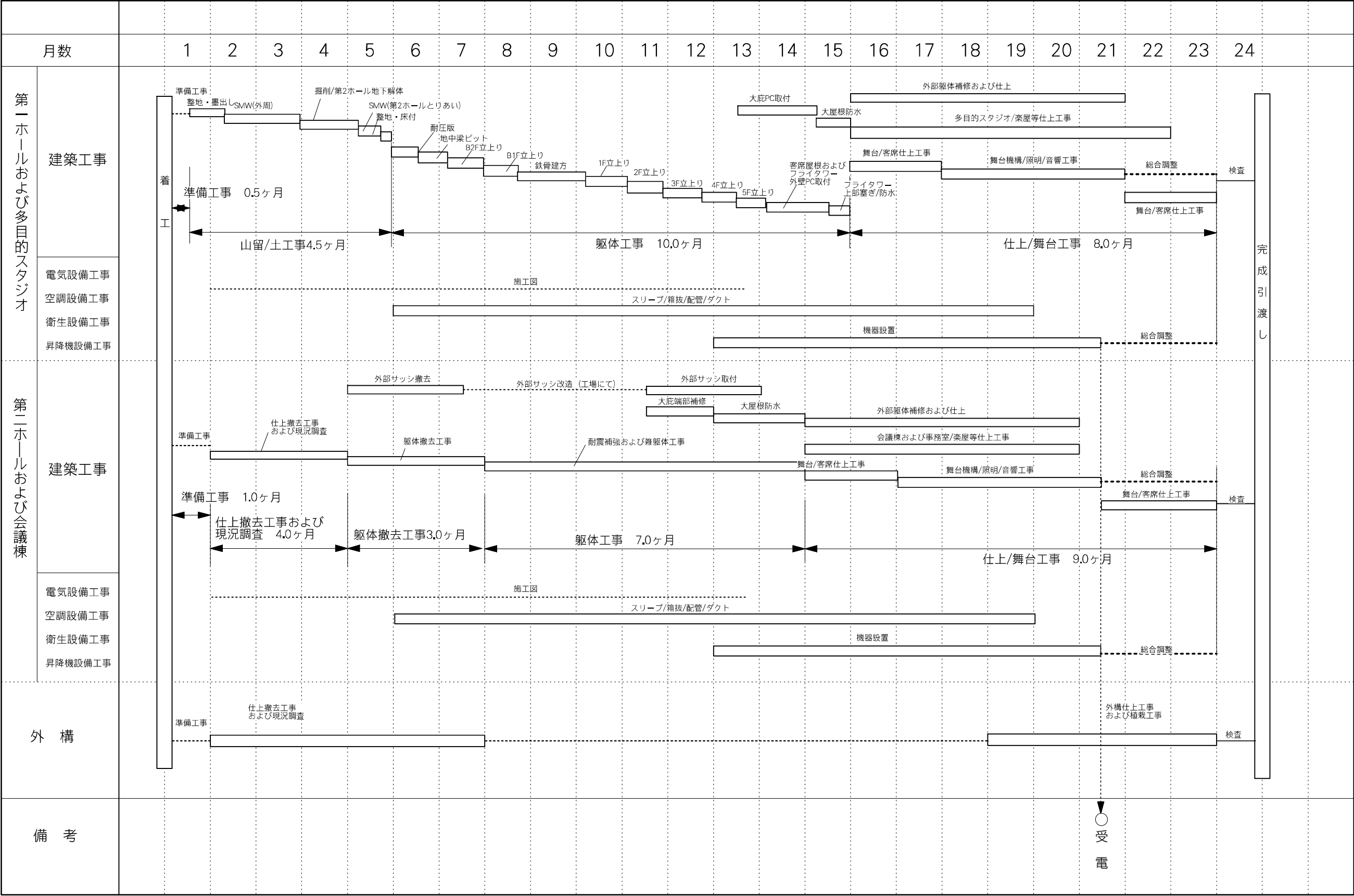
キンメツゲ

地被植栽の候補

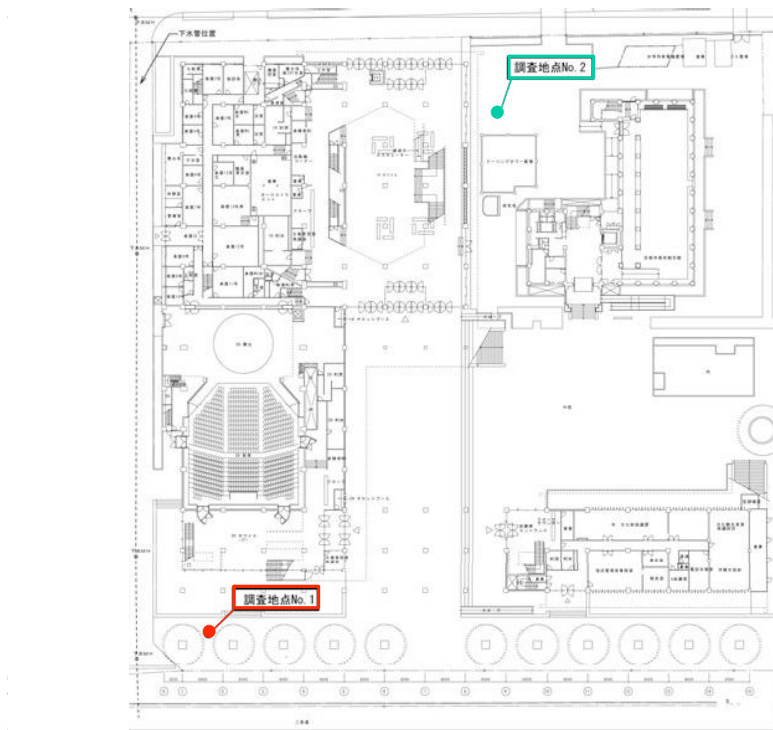


タマリユウ

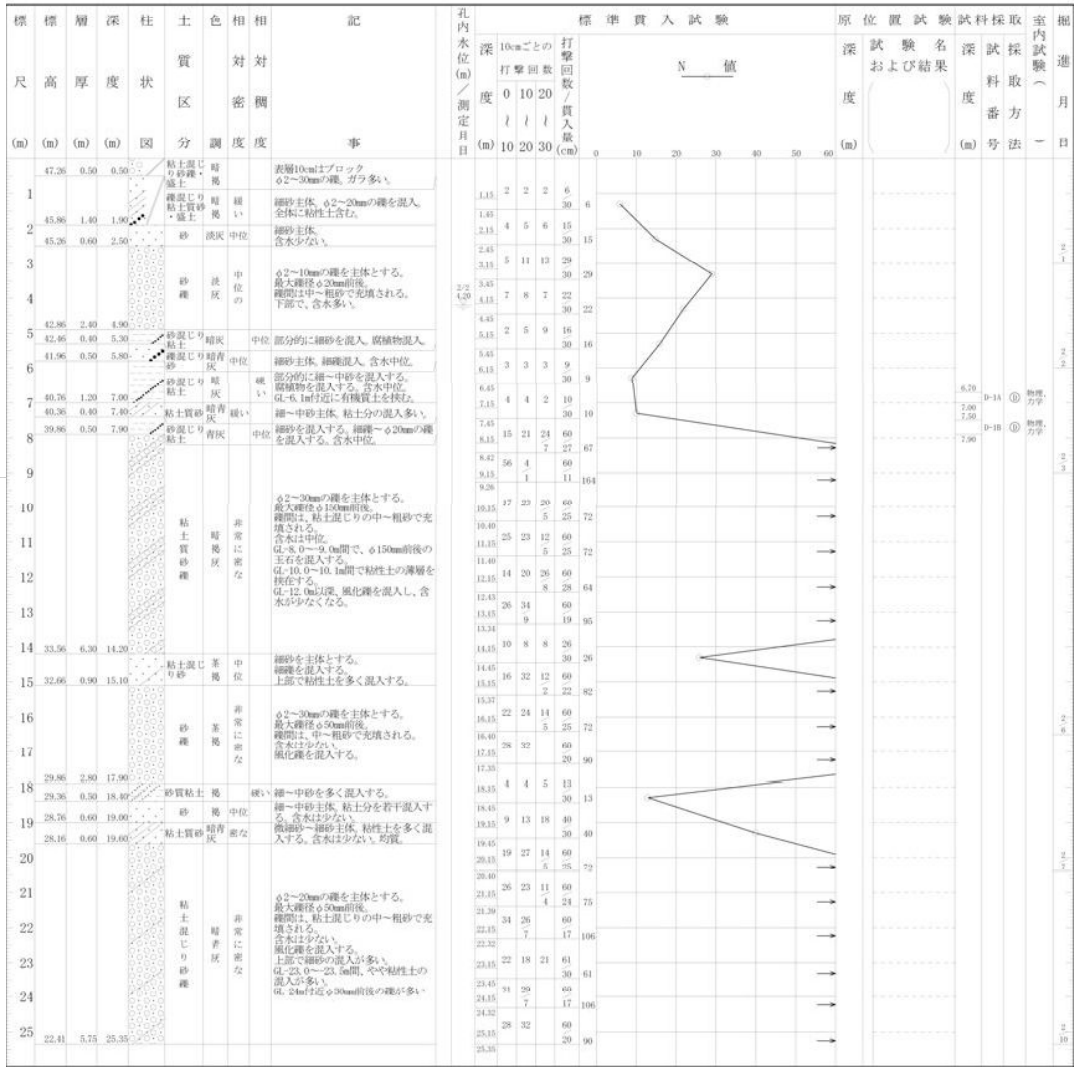
工事工程表 (案)



ボーリング柱状図



調査名		京都会館再整備工事用地における地質調査業務委託		ボーリングNo			
事業・工事名		No. 1		調査位置		京都市左京区岡崎最勝寺町13番地(京都会館敷地内)	
発注機関		京都市都市計画局公共建築部企画設計課		調査期間		平成 24 年 1 月 27 日 ～ 24 年 3 月 26 日	
調査業者名		00 キンキ地質センター 電話 (075-611-5281)		主任技師		川崎 直樹	
孔口標高		+47.76m		方		北 0° 西 90° 東 90° 南 180°	
総掘進長		25.35m		角		上 180° 下 0°	
				地盤勾配		水平 0°	
				使用機種		扶桑工業製 KR-100型	
				エンジン		ヤンマー製 NFAD8型	
				ポンプ		扶桑工業製 V5-P型	



ボーリング柱状図

